

9月定例会

9月定例会は、9月14日から9月27日までの14日間の日程で開きました。

可決された主な議案は次のとおりです。

- 認 定** 平成21年度飯南町各会計歳入歳出決算認定
- 報 告** 株式会社フロンティアあかぎの経営状況報告
- 条例関係** 飯南町犯罪のない安全で安心なまちづくり条例の制定など4件
- 補正予算** 平成22年度飯南町一般会計補正予算(第2号)など8件
- その他** 飯南町過疎地域自立促進計画など7件
- 議員発議** 飯南町議会庁舎問題調査特別委員会の設置など3件

発議（議員提出議案）

9月議会最終日の27日、意見書提出について2件・特別委員会設置について1件の発議（議員が議会に議案を提出すること）が日程に追加されました。採決の結果いずれも全会一致で可決し、意見書2件は国会（衆参両院議長）および関係省庁に提出、また庁舎問題を調査する特別委員会を設置しました。

● 発議第7号【住民の生活や生命を守るため「国土交通省松江国道事務所頓原維持出張所」の存続を求める意見書】

飯南町建設業協会より平成22年9月3日、「住民の生活や生命を守るため国土交通省松江国道事務所頓原維持出張所の存続を求める意見書採択についての陳情」がありました。これを採択し、国会および関係省庁に提出しました。

<意見書要旨>

赤名トンネルおよび晴雲トンネルの改築を地域住民は待ち望んでいること、また赤名トンネルと晴雲トンネル間一円の交通維持確保など、国道54号は飯南町行政にとって大変大きな課題を抱えている。これまで頓原維持出張所においては、これらの諸課題解決のため、重要な役割を果たしていただいているが、廃止されると、国道54号の維持確保縮小が予想され、「住民生活の困窮や脅かされる生命・当町経済の著しい疲弊」が懸念されるので、存続を強く求める。

● 発議第8号【ナラ枯れ対策の抜本強化に関する意見書】

ナラ枯れ被害が全国的に拡大するなか、飯南町においても被害が顕著になってきました。教育産業常任委員会では放置できぬ事態だという認識で一致し、委員長を提出者として「ナラ枯れ被害対策の抜本強化を求める意見書」をまとめ本会議へ提出し可決。国会および関係省庁に提出しました。

<意見書要旨>

- ・ナラ枯れによる被害木の処理に対する支援制度を拡充すること
- ・ナラ枯れ被害の拡大を防ぐために、より有効な方法の検討を進めること
- ・ナラ枯れが発生しにくい環境のナラ林を作るため、燃料等への利用可能な仕組みづくりを行うこと

平成22年度 一般会計補正予算は
赤来中学校校舎耐震大規模改修費・長期債繰上償還など

5億1,665万円増額

各 会 計		補正予算	予算総額
一 般 会 計		51,665万円	806,770万円
特 別 会 計	国民健康保険事業	2,486万円	80,229万円
	老人保健事業	0万円	21万円
	後期高齢者医療事業	176万円	15,877万円
	介護保険サービス事業	150万円	3,410万円
	簡易水道事業	339万円	31,163万円
	下水道事業	1,236万円	40,675万円
病 院 事 業		286万円	93,683万円

議論が集中した案件

- 飯南町過疎地域自立促進計画
- 飯南町ふるさとの森の指定管理者の指定
- 一般会計
- 国道54号活性化アクションプラン
- 町営バスの増便
- やまといも生産組合へ貸付
- 赤来中学校耐震大規模改修

決算審査特別委員会を設置

平成21年度飯南町各会計の歳入歳出決算を審査するため、決算審査特別委員会を設置しました。

- 委員長 門 眞一郎
- 副委員長 永井 章
- 委員 伊藤 好晴
- 委員 長島 正一
- 委員 石原 敏郎
- 委員 熊谷 兼樹

飯南町議会庁舎問題調査特別委員会を設置

庁舎問題に関する調査・検討のため、平成22年9月27日からこの調査が終了するまで、飯南町議会庁舎問題調査特別委員会を設置しました。

- 委員長 永井 章
- 副委員長 門 眞一郎

議長以外の11名の議員で構成する。